

市町対抗駅伝競走大会に向けて練習に励みます 町駅伝候補選手が決定

市町対抗駅伝競走大会の市候補選手指定証交付式が6月1日、市民会館で開かれ、候補選手約50人に指定証が交付されました。候補選手は6月6日から毎週水曜日に合同練習を実施。清水樂監督を筆頭に、10人のコーチとスタッフが指導にあたります。9月の代表選手選考会を経て、21人の代表が決定します。代表選手決定後を含め、選手たちは大会当日まで約6カ月間練習を重ねていきます。



災害時の水の確保に期待 （株）エコシティサービスと協定締結

市と（株）エコシティサービス（市水道料金等徴収業務委託受託者）は6月21日、災害時の応急給水支援や電話対応などの支援に関する協定を結びました。

柳澤市長は「災害時、住民の水の確保が可能となる。大きな財産を得た」と協力に感謝しました。同社の杉本憲二代取締役は「先日の地震で災害対応の必要性を痛感した。万全の態勢で取り組めるよう準備している。がんばりたい」と意気込みました。



危険物流出拡大防止訓練 漏れた油シャットアウト

危険物流出拡大防止訓練が6月8日、新野川河口で実施され、市危険物安全協会と消防本部、消防署員約20人が参加しました。漏えいした重油が川から海へと流出し、拡大する恐れがある場合を想定したものです。参加者それぞれが役目を確認し、①オイルフェンスを岸から岸にかけて張る、②油を吸着するロープを使い重油を回収するといった一連の流れを訓練しました。



だれでも食堂「もぐもぐ」開店 おばちゃんカレーが活躍

だれでも食堂「もぐもぐ」が6月28日、白羽公民館にオープンしました。家庭教育支援事業の一環で、平日の夕食を介した親子のふれあいの場をつくり、その中で「となりのおばちゃん」による相談や支援を実施します。参加者からは「お母さんとゆっくりできた」、「おばちゃんに『お母さんいつも頑張ってるね』と褒めてもらえてうれしい」といった声が聞かれました。食後は折り紙など親子の時間を楽しみました。